



津奈木中
学校便り
No. 1

夢実現・挑戦

令和5年4月26日
津奈木町立津奈木中学校
校長 高橋 裕二

祝入学30名、「未来は自分の中にある」

令和5年度、新入生30名を迎え、全校生徒97名、教職員22名でスタートしました。

保護者、地域の皆様のご期待に応えられるよう、生徒も先生も「学校が楽しい、学級が楽しい、授業が楽しい」と思えるような津奈木中学校を目指していきたくと思います。

さて、始業式や入学式で生徒に話したことを、3つ紹介します。

1つ目は「未来は自分の中にある」という言葉です。別の言い方をすると、「未来をつくるのは、今日の自分しかない」「自分を花咲かせることができるのは、自分自身に他ならない」でしょうか。ワールドベースボールクラシックで大活躍した大谷翔平選手は、高校時代に、「今回のWBCでMVPを取る」という目標を立て実現したそうです。皆さんも、学校教育目標の「夢実現に挑戦する活力ある生徒」を目指して、努力を積み重ねてください。



【入学式 新入生代表誓いの言葉】

2つ目は勉強です。「知らなかったこと、分からなかったこと、できなかったこと」が、「知る、分かる、できる」ようになると、勉強がとても楽しくなります。島崎藤村の映画「破戒」の中で、主人公の先生が最後に子供に語った「勉強を諦めてはいけません」「勉強から逃げてはいけません」「自分が困った時に、勉強は自分を助けてくれる」を実践して下さい。

3つ目は読書です。夢を実現した人の多くは、たくさん読書をして、自分の生き方を考え、自分自身を振り返る時間を作っています。テレビにもよく出演されている明治大学 齋藤孝教授は著書の中で、「本を読むことで、知識を深め、思考を深め、人格を深めることができる」と述べておられます。美しい文章や元気が出る言葉にたくさん触れ、前向きな気持ちで中学校生活を送ってほしいです。



【町モルック協会山口会長から贈呈】

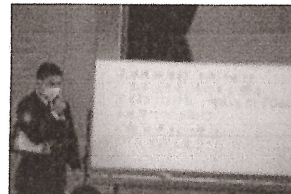
学校は「学ぶ場所」、みんなで学力向上

令和4年12月実施の県学力・学習状況調査では、「平日（月～金）1日あたり家庭学習が2時間以上」の生徒の割合は、津奈木中学校で

1年（現2年）36% ※県平均33%

2年（現3年）77% ※県平均34%

でした。現2・3年とも県平均を上回り、良い状況です。特に現3年生は、2時間以上の生徒が77%もいました。1・2年生も家庭学習を頑張りましょう。



【駐在所より交通安全教室】

今年度の学力向上の取組をまとめました。

【生徒】

- 粘り強く考え、進んで発表、みんなで学力向上
- 平日の家庭学習（宿題含む）2時間以上を目標

【授業】 ※先生方をお願いしました。

- 授業の導入や終末に「定着の時間」を取る。
- 1時間の授業の中に、「一人で考える時間」「自分の考えを伝え合う時間」を設定する。
- 定期的に小テスト等で、学習状況を見取る。

【学校】

- ◇月2～3回の「つなぎタイム（25分間）」で、国語・数学・英語の基礎基本の徹底
- ◇朝自習（読書）の始めに、基礎プリントの実施
- ◇学期に2回程度の計算大会等の実施
- ◇生徒ができるまで再テストや補充指導等を実施

保護者の皆様、津奈木町の皆様、4月から校長として勤務させていただいていまる高橋です。津奈木中には、平成23年度から3年間教頭として勤務しました。その後は、水俣市教育委員会や芦北教育事務所などの教育行政に7年間勤務しました。2年ぶり学校現場に戻り、改めて思うことは、「生徒の姿があり、生徒の声がかかる職場で働けることは、とても幸せである」ということです。工日に、女子バレーボール部と野球部の大会の応援に行きました。大きな声を出しながらハツラツとプレイしている中学生の姿に、私自身力ももらった気がしました。生徒一人一人には、夢や目標があり、楽しい未来があり、そしてたくさんの可能性があることを感じ、羨ましく思いました。しかし、これから先、辛いことや挫折するものもたくさんあると思います。先生方には、「厳しさや優しさも兼ね備えた指導で、学力や体力、精神面を鍛えてください」とお願いしています。